

# 福祉にいがた

Fukushi Niigata

## CONTENTS

### 巻頭特集

## 全国社協広報紙 最優秀は長岡

### ニューフェース職員が快挙（2・3面）

- 県社会福祉協議会、令和5年度主な事業
- 福祉の現場－利用者との日々に緊張感も
- ユニゾンの図書－難問奇問にずばり回答

4月号  
2023  
第848号

絵 「春の妙高」  
作・永越 環（上越市）



<編集担当から> 今年度、1面の表紙絵はえいこしたまさ永越環さん（上越市）の山岳風景画をお届けします。



社会福祉  
法人

新潟県社会福祉協議会

<https://www.fukushiniigata.or.jp/>

バックナンバー  
こちらから

第1回最優秀賞 全国社協広報紙コンクール

読まれる紙面へ  
手間や工夫評価

新設コーナー  
「まちのお宝」  
住民の活動など紹介

かわいさ切り撮り  
子ども目線  
写真を撮影

社会福祉協議会の元職員らでつくる実行委員会主催の第1回「全国社協広報紙コンクール」で、全国75の広報紙の中から最優秀賞に選ばれた、長岡市社会福祉協議会の「ながおか社協だより」（令和4年10月号、第179号）。評価された点などを紹介するとともに、メイン担当者にインタビューしました。

1年度に4月と8月、10月、2月の4回、11万3200部ずつ発行、自治会を通じて全世帯配付されます。基本

人口26万人の長岡市は平成の大合併で10市町村を相次ぎ編入。市社協は本部のほか、旧市町村に支所を構えます。

「ながおか社協だより」は



編集委員会の5人。前列左は広報紙担当の下室友香主事。右隣は直属の上司の黒美奈・地域福祉課係長。後列左は松浦正子・生活支援コーディネーター、右隣は諸橋克哉・栃尾支所主任、大塚久美・権利擁護課主任(所属などは3月時点です)

快拳  
ながおか社協だより



「まちのお宝発見隊!」は計3ページあり、写真は見開きページ

4月号は18ページ建てです。最優秀賞に選ばれた第179号の1〜4面は「赤い羽根共同募金」運動の紹介です。1面の写真は小さな女の子が硬貨を募金箱に投じる様子をとらえました。この表紙が読者を2〜4面の募金関連記事へ誘います。表紙について審査員は「シンプ

ルだが、色合いが暖色系にまとまり、統一感がある」と評価しました。

ほかのページで審査員から激賞されたのが5〜7面の企画コーナー「まちのお宝発見隊!」です。

前号から始まったコーナーでは担当者が地域へ出掛け、特色ある住民活動などを取材。それらを「まちのお宝」として毎号、2地区ずつ紹介します。

第179号は三島地区の「みしまみんな食堂」と千手地区の双子・多胎育児見守りサークル「チェリークラブ」です。参加者の写真やコメントも掲載するなど、手間を惜しまない紙面づくりが目立ちます。

こうした地域に根ざした編集方針を審査員は高く評価。さらに、子育てサークルの写真について「低い姿勢となって子ども目線で撮影し良かった」と、元気な子どものかわいさが伝わる点を褒めました。

(3ページへ続く)

(2ページから続く)

取材編集のメイン担当は地域福祉課の下室友香主事で、各課などからの編集委員4人が支えます。3カ月に1回の発行前に編集委員会を開いて掲載内容を検討。主担当が記事をまとめ、紙面を割り付けします。印刷会社とやり取りしな



令和4年10月号表紙(右)と受賞トロフィー

### 【全国社協広報紙コンクール】

社会福祉協議会の勤務経験がある6人でつくる実行委員会の主催。新潟県社協はじめ32都道府県社協が後援。実行委員代表は窄口(さごくち)真吾氏。兵庫県三田市。窄口氏は「福祉を支える方々を支えたい」と、広報紙研修会などを主催する。

から初校、再校と、紙面に修正を加えながら最終紙面を仕上げていきます。

## 紙面点検に多くの目も 多様意見受け修正も

発行作業について丸山和浩事務局次長兼地域福祉課長は「校正を重ねるたび大勢の意見が入って『オール長岡社協』での紙面づくりになる。多くの意見が飛び交い、担当者も大変だろうが、それが親しまれる紙面の下支えになっていると思う」と話しました。

コンクールは、令和5年2月に開催した第1回「社協のための広報紙講座」に参加した社協の広報紙75紙を対象に実施。社協職員的一般投票なども経て最優秀賞1点のほか、優秀賞2点、フォト賞1点などを決定。1月31日にリモートで表彰式を実施し、その後、結果を公開した。

ながおか社協だより

## 昨春採用ニューフェースが担当

長岡市社会福祉協議会が発行する「ながおか社協だより」の取材編集担当、地域福祉課の下室友香主事は昨年4月に採用され、今春、入職2年目です。ニューフェー



しもむろともか 下室友香主事  
長岡市社協  
地域福祉課

ともに、企画コーナー「まちのお宝発見隊！」が高く評価されました。「上司や先輩も取材にとっても積極的で、かなり助けられています。子ども目線の写真は、私も一緒に遊びながら写したのが良かったのかな。コーナーは広報紙の前任者からアドバイスを受け、開設しました」  
—手間や作業量が増えますが、住民のコメントや写真を読んだ住民が、その活動に参加するようになってくれたらうれしい。そのためにも、もっと地域へ出掛け、いろんな『お宝』を見つけて紹介したい—  
—広い長岡で地域の情報をどうやって集める？  
「まずは職員です。その地域の人や活動に詳しい職員を見つけては、何でも聞いちゃうんです」  
—なぜ社協に就職を？

## どんだん地域へ お宝見つけたたい

「高校時代の部活がボランティア関係で、活動の中で社協職員さ

ス職員として全国コンクール最優秀賞を手にした下室主事に、広報

紙への思いを聞きました。

—職員として初の担当が

広報紙ですね。

「身近な人が載っていると読みたいくなりますよね。

「大学時代に学内のボラ

読まれる広報紙になるため

ンティア関係の活動でパン

にも、地域の人たちにどん

フレットや広報紙発行の経

どん取材したいし、どんだ

験が楽しかった。職場で広

ん紙面に載せたい」

報紙担当と言われ「ラッ

—このコーナーを今後、

キー！」と思いましたが

どう育ててゆく？

—コンテンツでは写真と

「紹介した地域の活動の

んが地域の高齢者と楽しそうに接する姿を見る機会がありました。福祉に興味があった私はその姿にあこがれました。大学を出て、出身の上越地方で介護員として勤めた後、結婚のため移り住む長岡で採用試験を受けました」

# 令和5年度の主な事業 新潟県社会福祉協議会

## 1 みんなで育む福祉のまちづくり

- (1) 福祉に関する県民の理解や関心の向上
  - ① 新潟県民福祉大会開催事業《継続・自主、共募：3,068千円》  
開催地：上越市 10月19日
  - ② 福祉・介護・健康フェア開催事業《継続・自主、共募：1,991千円》  
開催地：新潟市、長岡市、上越市
- (2) 地域福祉活動・市町村社協活動支援事業
  - ① 市町村社協会長研修《継続・自主：444千円》  
開催地：十日町市
  - ② 市町村社協職員課題別研修《継続・自主、補助：585千円》
- (3) 地域共生社会実現に向けた基盤構築の推進《継続・補助：547千円》＜活動指針＞
  - ① 市町村社協が抱える社会課題の抽出及び検討
    - ・市町村社協への個別訪問調査
    - ・課題解決に向けた検討チームの設置、課題抽出・検討
  - ② 地域共生社会の実現に向けた関係機関・団体との連携の場づくり
    - ・プラットフォームづくりの推進
    - ・新たな社会課題の解決に向けた具体的取組
- (4) ボランティア活動・社会貢献活動推進事業
  - ① 災害時福祉支援活動の推進《継続・補助：186千円》
    - ・災害支援コーディネーター養成研修（初級・中級・上級）
  - ② 福祉教育の推進《一部新規・補助：244千円》
    - ・福祉教育推進セミナー（基礎・実践）
    - ・第29回日本福祉教育・ボランティア学習学会 新潟大会《新規》
- (5) 福祉団体との連携・協働を基盤とした政策提言、要望活動《継続・自主：346千円》
  - ・福祉団体等懇談会の開催や共同要望活動の実施
- (6) 災害福祉広域支援ネットワーク協議会の運営《継続・補助：1,500千円》
  - ・災害福祉支援チームの研修・訓練等



第72回新潟県民福祉大会

## 2 一人ひとりの自立生活づくり

- (1) 明るい長寿社会づくり推進事業
  - ① にいがたねりんピック《継続・補助：3,885千円》
  - ② 全国健康福祉祭選手派遣《継続・補助：5,572千円》  
開催：愛媛県 10月28～31日
  - ③ シニアカレッジ新潟《継続・補助：11,094千円》
  - ④ シニアカレッジ新潟卒業生の地域活動・交流促進事業《継続・補助：250千円》
  - ⑤ 高齢者等の健康増進・地域参画促進に向けた講演会《継続・補助：223千円》
  - ⑥ 全推連関東甲信越ブロック会議《新規・補助：230千円》
- (2) 認知症コールセンター事業《継続・委託：2,069千円》
- (3) 障害者福祉活動推進事業《継続・補助：11,127千円》
  - ① 福祉の店パレット新潟店運営事業
  - ② 障害者施設商品のコンプライアンス強化
  - ③ セミセルフレジの導入
  - ④ 農福マルシェの開催
  - ⑤ 障害者施設による販売業務の実施（施設外就労）
  - ⑥ 障害者就労×持続可能なビジネスモデルの展開
- (4) 生活福祉資金貸付事業《継続・補助：貸付金交付額 37,292千円》
- (5) 新潟県・新潟市ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業《継続・補助：貸付金交付額 8,980千円》
- (6) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業《一部新規・継続・補助：貸付金交付額 20,636千円》
- (7) 自立生活を支えるための包括的な総合相談・生活支援体制づくりの推進《継続・補助：45千円》＜活動指針＞
  - ① 生活困窮者自立支援に関わる社協職員等研修
  - ② 生活福祉資金事務担当者研修会
- (8) 生活支援相談員設置事業《新規・委託：10,045千円》



ねりんピックかながわ



シニアカレッジ新潟

### 3 利用者主体の福祉サービスづくり

- (1) 地域における権利擁護体制の推進<活動指針>
- ① 日常生活自立支援事業《継続・補助:45,630千円》
    - ・29社協に委託し実施
    - ・業務監督実地指導                      ・専門員研修会
    - ・生活支援員研修会
    - ・人材育成推進ワーキング・チーム
    - ・緊急時における相互連携・支援協力の取り組み検討
  - ② 成年後見制度普及促進事業
    - 《一部新規・委託、共募、自主:3,762千円》
    - ・権利擁護人材養成モデル事業《新規》
- (2) 福祉サービス利用者の苦情解決の支援  
《継続・補助:5,792千円》
- ・福祉サービス運営適正化委員会事業

### 4 福祉を支える人づくり

- (1) 福祉人材の確保等
- ① 福祉人材センター運営事業
    - 《継続・委託:11,067千円》
    - ・新潟市、長岡市、上越市での就職等相談の実施
    - ・出張相談会の実施
    - ・福祉のしごと就職フェア
    - ・介護施設見学会の開催
  - ② 福祉職の魅力についての啓発の推進
    - 《継続・委託:4,198千円》<活動指針>
    - ・インタビュー動画作成
    - ・福祉職場体験
    - ・職場体験レポート
    - ・関係団体・法人等との連携事業
  - ③ 介護福祉士等修学資金貸付事業
    - 《継続・補助:貸付金交付額 256,610千円》
    - ・介護福祉士・社会福祉士修学資金
    - ・介護福祉士実務者研修受講資金
    - ・離職介護人材再就職準備金

- ④ 保育士修学資金貸付等事業
    - 《継続・補助:貸付金交付額 87,400千円》
    - ・保育士修学資金
    - ・潜在保育士再就職準備金
  - ⑤ 県民介護知識・技術習得講座実施事業
    - 《継続・委託:3,835千円》
    - ・県民介護知識・技術習得講座
  - ⑥ 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業《継続・委託:13,467千円》
    - ・相談窓口の設置
    - ・試用貸出の実施
    - ・体験展示の整備
    - ・勉強会・連絡会議等への参加
    - ・介護ロボット普及のための推進協議会（仮称）の設置
- (2) 社会福祉研修センター運営事業  
《一部新規・委託、自主:6,828千円》
- ・風通しの良い職場の作り方研修《新規》
  - ・コンフリクトマネジメント研修《新規》
  - ・福祉職場におけるトラブル対応研修《新規》
  - ・法人・事業所に対しての研修事業に関する調査
- (3) 介護支援専門員実務研修受講試験事業  
《継続・委託:4,947千円》
- 試験日:10月8日  
開催地:新潟市、三条市 他

### 5 法人運営機能の強化

- (1) 会計監査人設置・内部管理体制の整備
  - 《継続・自主:2,772千円》
- (2) 職員の育成・組織力向上《継続・自主:1,085千円》
  - ・OJT研修、スキルアップ研修、組織力向上研修等
- (3) 新潟ユニゾンプラザの管理運営
  - 《継続・補助:121,876千円》
- (4) 県社協事業継続計画（BCP）の評価・改善《継続》

## 事業計画体系図



# 新潟県社会福祉協議会 令和5年度当初予算 資金収支予算内訳表

(単位：千円)

会計単位／事業区分／拠点区分 等	収支等区分	R5当初予算 (a)	R4当初予算 (b)	増 減 (c)
1 一般会計	総収入	2,753,108	2,804,504	△45,816
	総支出	2,416,795	2,378,229	44,146
	当期末支払資金残高	336,313	426,275	△89,962
(1) 社会福祉事業 合計	総収入	455,237	424,176	31,061
	総支出	376,341	356,782	19,559
	当期末支払資金残高	78,896	67,394	11,502
①法人運営事業 (理事会・評議員会など)	総収入	74,430	63,887	10,543
	総支出	59,437	50,236	9,201
	当期末支払資金残高	14,993	13,651	1,342
②連絡調整事業 (要望活動、福祉団体懇談会など)	総収入	4,697	5,541	△844
	総支出	3,732	5,541	△1,809
	当期末支払資金残高	965	0	965
③企画・広報事業 (広報活動、顕彰事業など)	総収入	9,344	8,048	1,296
	総支出	9,344	8,048	1,296
	当期末支払資金残高	0	0	0
④地域福祉活動推進事業 (成年後見促進・法人後見支援事業、市町村社協支援など)	総収入	43,155	37,017	6,138
	総支出	43,155	37,017	6,138
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑤高齢者福祉活動推進事業 (明るい長寿社会づくり事業など)	総収入	89,379	87,470	1,909
	総支出	89,379	87,470	1,909
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑥障害者福祉活動推進事業 (福祉の店パレット新潟店など)	総収入	19,544	16,174	3,370
	総支出	14,489	13,309	1,180
	当期末支払資金残高	5,055	2,865	2,190
⑦福祉サービス利用支援事業 (日常生活自立支援事業など)	総収入	68,181	68,961	△780
	総支出	68,181	68,961	△780
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑧福祉従事者確保・就労促進事業 (福祉人材センター事業、福利厚生センター事業など)	総収入	63,880	64,215	△335
	総支出	63,880	64,215	△335
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑨共同募金配分金事業 (福祉にいがた発行事業、県民福祉大会など)	総収入	12,257	12,094	163
	総支出	12,257	12,094	163
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑩助成事業 (福祉施設への助成)	総収入	9,515	7,362	2,153
	総支出	9,515	7,362	2,153
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑪基金管理運営事業 (県民たすけあい基金など)	総収入	88,178	82,736	5,442
	総支出	30,295	31,858	△1,563
	当期末支払資金残高	57,883	50,878	7,005
(2) 公益事業 合計	総収入	2,195,056	2,275,838	△80,782
	総支出	1,912,218	1,910,244	1,974
	当期末支払資金残高	282,838	365,594	△82,756
①福祉従事者養成・資質向上事業 (社会福祉研修センター事業)	総収入	22,906	21,178	1,728
	総支出	14,552	15,815	△1,263
	当期末支払資金残高	8,354	5,363	2,991
②介護支援専門員養成・資質向上事業 (ケアマネ実務研修受講試験事業)	総収入	29,037	27,800	1,237
	総支出	14,521	14,281	240
	当期末支払資金残高	14,516	13,519	997
③福祉従事者退職共済事業	総収入	1,478,444	1,484,475	△6,031
	総支出	1,478,444	1,484,475	△6,031
	当期末支払資金残高	0	0	0
④貸付事業 (介護福祉士等修学資金など)	総収入	664,669	742,385	△77,716
	総支出	404,701	395,673	9,028
	当期末支払資金残高	259,968	346,712	△86,744
(3) 収益事業 合計	総収入	113,692	109,787	3,905
	総支出	139,113	116,500	22,613
	当期末支払資金残高	△25,421	△6,713	△18,708
①新潟ユニゾンプラザ管理運営事業	総収入	113,692	109,787	3,905
	総支出	139,113	116,500	22,613
	当期末支払資金残高	△25,421	△6,713	△18,708

※社会福祉法人会計基準により内部取引を相殺消去して表記しているため、各事業間の合計は一致しません。  
 ※総収入額に前期末支払資金残高を含めています。

## 貸付制度のご案内

厚生労働省の要綱に基づき、国と新潟県（ひとり親家庭高等職業訓練促進資金は新潟市も）が貸付原資を出し合い、新潟県社会福祉協議会が運営する貸付制度について、ご案内します。

※各貸付制度の詳細や借入申込申請時期は、新潟県社会福祉協議会のホームページで確認できます。

### 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金

**目的** 児童養護施設等を退所した人などの就職や進学、資格取得を支援します。

**貸付対象** 児童養護施設を退所、里親等委託解除した人、または退所・委託解除後5年以内の人。資格取得支援費は入所中・委託中の人も可能。

**貸付額** ①生活支援費(医療費含む)  
＝大学等への進学者の生活費、医療費＝  
月額5万円以内  
(生活費に追加して医療費の実費相当額)

②家賃支援費：家賃額  
※上限あり  
(大学等への進学者、または就職者の1カ月当たりの家賃相当額)

③資格取得支援費：25万円以内  
(児童養護施設等入所者の資格取得費用)

※新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、経済的に厳しい状況にある人は①、②も対象になります。詳細はお問い合わせください。  
※定期的に医療機関を受診する人に①の支援内容を一部拡充しました。詳細はお問い合わせください。

**返還免除** 就職した日から5年間、就業を継続した場合(資格取得支援費は2年間)、返還が免除されます。

#### 【お問い合わせ先】

新潟県社会福祉協議会 生活支援課

TEL 025-281-5605

新潟県社協

検索

HP 上部メニューバー  
左上 「生活支援」へ

### ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

#### 【訓練促進資金】

**目的** ひとり親家庭の親の方の養成機関への入学や取得資格を活かした就職のための準備資金を支援します。

**貸付対象** 「高等職業訓練促進給付金」を受給している人のうち、取得する資格が必要な業務への従事を希望する人。

**貸付額** ①入学準備金：50万円以内  
(養成施設入学金等)  
②就職準備金：20万円以内  
(就職する際の準備費用)

**返還免除** 取得した資格が必要な業務に5年間、従事した場合、返還が免除されます。

#### 【住宅支援資金】

**目的** ひとり親家庭に対し、入居住宅の家賃を支援します。

**貸付対象** 原則として「児童扶養手当」を受給し、母子・父子自立支援プログラムの策定を受けている人。

**貸付額** 月額上限4万円、12カ月の範囲内で、最大48万円。

**返還免除** ①就業していない人が1年以内に就職し、1年間、就業継続した場合。  
②就業中の人が1年以内にプログラム策定時より高い所得が見込まれる転職をした後、1年間就業継続した場合。

認知症のこと、ひとりで悩んでいませんか？ ～お気軽にご相談ください～

新潟県認知症  
コールセンター

相談電話

025-281-2783

にんじょうなやみ

【所在地】〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階(来所相談も可)  
【相談時間】月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



**保険金額・年間保険料（1名あたり）** 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン		
		基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外 <sup>(*)</sup>	初日から補償	
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
<b>年間保険料</b>		<b>350円</b>	<b>500円</b>	<b>550円</b>

商品パンフレットは  
こちらから



( ふくしの保険 )  
ホームページ

\*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

## <重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

**ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償** (傷害保険)

**福祉サービス総合補償**  
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受専事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)



# 障害も生きづらさもオープンに



④から⑥へ「全員登場のフィナーレ」、障害者らの「山六笑点」、高齢アイドルグループ

「心の病に悩んできたけど前向きに生きたい」「発達障害がある」。障害や生きづらさを抱える人たちによる、音楽などの表現イベント「未来地図Palette」が3月12日、新潟市中央区の市歴史博物館構内、旧第四銀行住吉町支店で開かれました。

## 新潟市で 理解求め合奏など 熱演

イベントは「山六笑点」「生き様発表会」など県内の障害当事者などの4グループでつくる「未来地図プロジェクト」の主催です。メンバーにステージ出演を励みにしてもらおう一方、来場した住民に障害などへの理解を深めてもらおうと、第1回の昨年に続いて開催。計6グループが出演し、約70人が訪れました。

出演者たちがギター、弾き語りや楽器演奏、合奏などを次々に披露すると、会場は温かい拍手に包まれました。

ゲスト出演して目を引いたのはメンバー3人の合計年齢が192歳という高齢アイドルグループ「P!P MON☆」です。寄る年波にあらがうように歌って激しく踊り、客席を驚かせました。

主催者共同代表の中村優美さん（ほほえみの木）は「このイベントは来年も開きたい」と話していました。



### 社会人の学び

学校を卒業して社会に出たら勉強は終わり……。そう思っていました。

ところが、社会が目まぐるしく変わる今日、仕事で求められる知識やスキルを時代の変化に合わせて継続的にアップデートすることが必要と

学校を卒業して社会に出たら勉強は終わり……。そう思っていました。

ところが、社会が目まぐるしく変わる今日、仕事で求められる知識やスキルを時代の変化に合わせて継続的にアップデートすることが必要と

## 人生の幅 広がりそう



何歳になっても学び続ける姿勢を大事にしていきたいものです。

（貴浩）

しかし、人生100年時代が到来。さらに、急速な情報技術の革新や雇用の流動化などにより、私たちの人生は社会に出た後も転職や起業で新たな仕事を始めたり、子育てをしながら働いたり、定年後も新たな仕事に挑戦するなど、キャリアアップ、キャリアチェンジしていくスタイルに変わりつつあります。

これからの時代、多様なライフスタイルやライフステージの変化に応じた生き方や働き方がいっそう、求められそうです。

学校を卒業した後も、新たな知識やスキルを身に付ける学び直しは、生き方や働き方の選択肢を増やし、人生の幅を広げることにつながるのではないのでしょうか。

# 令和5年度 共同募金 広域助成事業を募集

県共同募金会では、令和5年度共同募金広域助成事業を募集します。

要項・申請書は当会のホームページからダウンロードしてください。

## 令和5年度共同募金広域助成事業募集のお知らせ

事業名	県広域福祉団体助成
1 対象事業	県域を単位とする民間の福祉団体が実施する社会福祉事業等
助成基準	事業費の80%を上限
事業名	社会福祉施設整備助成
2 対象事業	高齢者・障がい者・児童などを支援する法定施設で、施設利用者の処遇向上のための備品・車両の整備、施設の増改築や改修など
助成基準	事業費の75%（施設改修、備品整備は200万円、車両整備は150万円）を上限。多額の繰越金を有する団体は対象外
事業名	地域活動支援センター等支援助成
3 対象事業	地域活動支援センター等が実施する研修・交流会の開催、建物の修繕、作業用備品の購入、自主製品の材料購入、送迎用車両の購入など
助成基準	原則として事業費の90%を上限。多額の繰越金を有する団体は対象外
事業名	地域活動支援助成
4 対象事業	社会福祉法人、NPO法人、自治会等の地域団体、社会福祉活動を行う非営利団体・グループが公的助成の対象とならない「生活支援事業」「交流支援事業」「移動支援事業」を実施するために必要な経費
助成基準	原則として事業費の90%（事業内容に応じ100万円から10万円）を上限

申請締切りは5月22日

（月）、消印有効です。

また、市町村共同募金委

員会でも公募事業を実施し

ていますので、各地域の共

同募金委員会にお問い合わせ

### ありがとうメッセージ

「令和4年度赤い羽根ポ  
スト・コロナ（新型コロナウイルス）  
社会に向けた福祉活動応援  
キャンペーン」で助成を受  
けた団体からの「ありがとう  
メッセージ」です。（事  
業実施期間：令和4年4月  
1日～9月30日）

### 生活困窮者らへ

### 手作り弁当配布

燕・おたがいさま食堂

ひとり親家庭、生活困窮  
家庭（30～40世帯）に手作  
りのお弁当（1回80食～90  
食）と食材・生活用品など

してください。

お問い合わせは新潟県共  
同募金会へ。

【TEL】 025(281)

5532【ホームページ】

「新潟 赤い羽根」との検

索で探せます。【URL】

[http://www.akaihanen-](http://www.akaihanen-niigata.or.jp)

[niigata.or.jp](http://www.akaihanen-niigata.or.jp)

を配布しました。

また、新型コロナウイルス  
スに感染したひとり親から  
の相談に応じ、玄関先に食  
材や弁当を届けました。

つらい、不安、悲しい、  
怒りなどの感情を持って余す



おいしい手作り弁当（左）と、楽しい調理作業

ひとり親や生活困窮の方々  
が増え、多くの方は「誰も  
分かってくれない」と思い  
がちです。こうした孤独感  
や「自分は価値がない」な  
どの感情は、前向きに生き  
ようとする気持ちを妨げる  
原因になりかねません。

そこで、私たちは食堂・  
パントリー事業でつながる  
ことで、苦しい時に「苦し  
い」「助けて」が言える関  
係を作り、今までの辛い思  
いを受け止め「ひとりじゃ  
ない」「私を必要としてい  
る子どもがいる」と、ご本  
人が気付けるような支援を  
目指しています。

心が少し前向きになれる  
と、自分から仕事を探すな  
ど、今後の生活を前向きに  
考えられるようになってい  
きます。助成金で支援を必  
要としている方々にお届け  
することができました。

本当に感謝しております。  
ありがとうございます。



赤い羽根

情報

報



赤い羽根

情報

報



—福祉の現場で働く人たちに  
思いを聞きました—



ふるやま  
ともみ  
古山  
友美  
さん

工房はたや  
職業指導員  
生活支援員

<工房はたや>

〒959-0423

新潟市西蒲区旗屋311

Tel 0256(70)4044

＝運営：新潟みずほ福祉会＝

連絡先

「ありがとうございます  
」。新潟ユニゾンプラザ  
1階。雑貨やお菓子など福祉  
の手作り品を扱う「福祉の店  
パレット」のレジから明るい  
声が響く。

ある水曜  
日、古山友美

さんは、就労継続支援B型  
などの多機能型事業所「工  
房はたや」（新潟市西蒲区）  
の利用者と一緒にレジ業務  
に就いていた。利用者が客  
の購入商品にバーコード  
リーダーをかざした後を引  
き受ける。県社会福祉協議  
会の委託を受けた、市内の  
福祉事業所が利用者と職員

## 利用者との日々 に緊張も

のペアを交代で派遣する。  
「レジ業務は利用者さん  
の職業訓練の一環です」と  
古山さん。普段は工房はた  
やで朝夕、送迎車のハンド



パレット新潟店で利用者（中央）と一緒にレ  
ジ業務に当たる古山友美さん（左）

い利用者さんが多かったけ  
れど食事を残さず食べてく  
れて、やりがいを感じた」  
その後、異動で工房はた  
やへ。生活支援員となつて  
5年。この間、担当した手  
作り豆腐が新型コロナウイルス  
ルス感染拡大に直撃され、  
売り上げが激減するやるせ  
なさも味わった。

ルを握って利用者を送り迎  
え。日中は企業からの委託  
作業をこなす利用者をサ  
ポートする。  
働いて14年。「福祉の現  
場」には、ほぼ予備知識な  
いで飛び込んだ。  
進学して栄養師の資格を  
取得。地元への就職先を望  
んだ際、実家に近い障害者  
支援施設「みのり園」（西区）  
が目止まった。主に知的  
障害者の入所と通所の施設  
に「知らないから、逆に興  
味がわいた」。

昨年4月、肩書きに職業  
指導員が加わった。「A型  
作業所や一般就労を目指す  
利用者さんへ向け、就職の  
情報収集や、事業所見学の  
申し込みを手伝います」  
知らなかった福祉の現場  
だが「今はやりがいを感じ  
て楽しい」。その理由は利用  
者と職員との関係だとい  
う。「おもしろさと緊張感が  
ある。私たちの言葉一つで、  
利用者さんはやる気を出す  
し、その逆もある。私たち  
の言動も見透かされている  
かもしれない、ごまかせない」  
B型は利用者への工賃の  
少なさが課題  
だ。「工賃以  
上に、施設は

利用者さんの居場所であ  
り、毎日の生活そのもの。  
だから施設を無くしてはい  
けない。次へつないでいく  
のが私たち職員の責務だと  
思っています」  
福祉の現場への思いを力  
強く語った。  
（古山さんは4月から一時、  
パレット担当を外れます）

特養などの高齢者施設、  
訪問介護、障害者の支援施設、  
こども園 など

職員がお願いや  
苦情を聞いてくれない

職員の言葉遣いや言い方が  
キツく嫌な思いをしている

施設内でケガをしたが職員の  
説明や対応に納得できない

福祉サービスについて、事業者にも相談しても解決しない、また、話しにくい場合は

新潟県福祉サービス運営適正化委員会

〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階

TEL.025-281-5609

相談無料

秘密厳守

FAX.025-281-5610

メールアドレス kujou@fukushiniigata.or.jp

新潟ユニゾンプラザ2階の「図書情報ルーム」(通称・ユニゾンの図書館)がお薦めする「今月の本」。

難問奇問ずばり回答

「ドンダリのカサは帽子なの? パンツなの?」「なんで植物に骨はないの?」「ラジオから聞こえる「子ども電話相談」のかわいい声と質問に、相好を崩した向きも多かろう。同じようなマスコミ企画がやはり、外国にもあるものだ。

「地球で暮らすきみたち」に知ってほしい50の「と」の著者は60歳代前半のデンマーク人科学ジャーナリスト。母国で勤務する新聞社



の発行紙「キッズ・ニュース」で、担当する質問コーナー「博士に聞こう」を一冊にまとめたのが本書だ。

「宇宙はどうやってつくられた?」「星はいくつある?」「宇宙人はいるの?」「死んだらどうなる?」など、大人になっても抱き続けるような、質問や疑問ばかり。日本のラジオ番組では学者が専門分野について

県民共済が100万

今年も県社協へ寄付

共済事業を行っている新潟県民共済生活協同組合(佐久間康英理事長)は「災害ボランティア活動の促進に役立ててほしい」と新潟県社会福祉協議会に100万円を寄付しました。寄付を受け、3月20日、県社協の関原貢・常務理事事務局長は新潟市中央区の県民共済を訪ね、佐久間理事長に感謝状を贈りました。

佐久間理事長は「災害ボランティアが安心して活動できるように役立ててほし

答えるのに対し、本書は博士が八面六臂の活躍よろしく、1人で回答。どんな面白い掛けにもきちんと答えている姿勢は高得点か。記者あとがきによると、博士の妻は日本女性で、取材などでも訪日を重ねてきた。博士のアドバイスにより、日本の読者にも親しみやすい形に仕上がったとアピールしている。



県社協へ今年も100万円を贈った県民共済の佐久間理事長

い」と述べました。

関原事務局長は、昨夏の県北豪雨災害の災害ボランティアセンター運営を県社協が支援したことに触れ「貴重な浄財は大変に心強い」と礼を述べました。

県民共済は県社協へ毎年、浄財を贈っています。

◆人事異動◆

新潟県社会福祉協議会

(4月1日付)

- 福祉サービスマネジメント課主任 企画広報課主任 兼務 (地域福祉課主任)
- 石川基世▽地域福祉課主任 (福祉サービスマネジメント課主任 兼務)
- 山本実央▽兼務を解く
- ▽総務管理課嘱託 (福祉人材課嘱託) 梅川奈津子

【昇任】

- 地域福祉課主任 (地域福祉課主任) 清川祐介▽福祉人材課主任 (福祉人材課主任) 渡邊貴浩▽同課主任 (同課主任) 渡邊慎也▽同課主任 (同課主任) 小原雄輔

【採用】

- 生活支援課主任 佐藤光
- 【退職】 3月31日付 植木直子・総務管理課主任

福祉の店

パレット情報

パレット新潟店営業日

2023年		4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	
						1		
2	3	4	5	6	7	8		
9	10	11	12	13	14	15		
16	17	18	19	20	21	22		
23	24	25	26	27	28	29		
30								

営業時間 11:30~16:30 □…は休業日

編集後記

「ながおか社協だより」の全国コンクール最優秀賞は「福祉にいがた」3月号に一報を掲載、4月号には詳細を載せた。新年度スタートの号を明るい話題で飾れてうれし。

社協勤務経験のある民間人の実行委が初めて実施したコンクール。無名なだけに、受賞に対し長岡市社協の中で戸惑いもあったのではと推測する。今後、主催者側がコンクールを続け、全国の社協関係者が盛り上げていけば、賞の重みはいやでも増してゆくだらう。

そう思いつつ、お邪魔した長岡市社協。広報紙担当職員は弾けるようによく笑う、明るい女性だった。笑い声はよく響き、周囲が抱える小さな悩み事など吹き飛ばしてしまいうだ。それだけ明るいお人柄なら、誰にもかわいがられよう。明るさを広報紙にのびませ、笑顔と元気の素として地域に届けてほしい。おすそ分け、小生も頂きます。(佐)

この機関誌は、赤い羽根共同募金の助成を受け発行しています。

発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会  
新潟市中央区上2-2-2ユニゾンプラザ  
☎ 025-281-5584  
発行人/関原 貢  
定 価/5円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた  
令和5年4月1日発行 (毎月1日発行)  
印刷/島津印刷株式会社